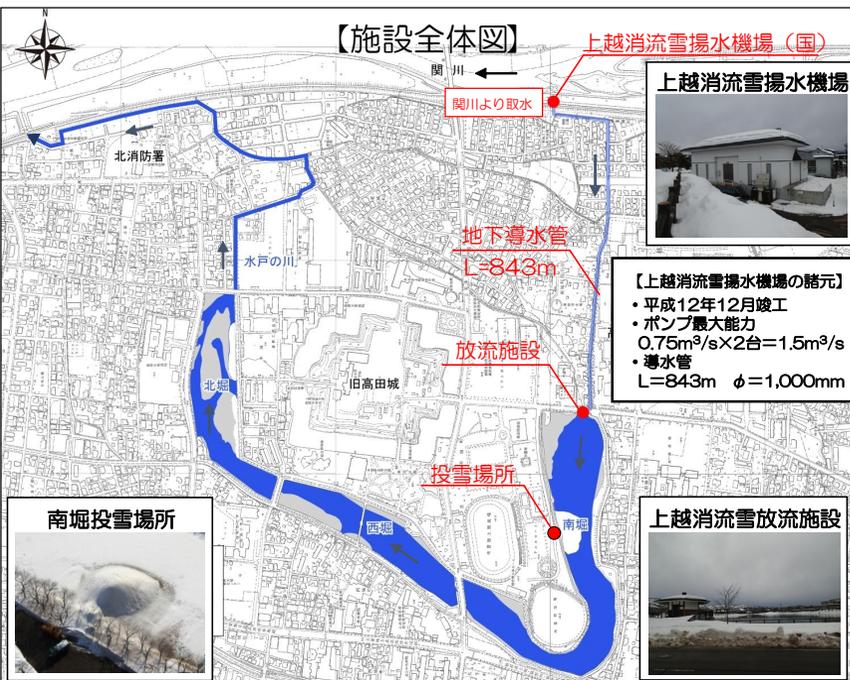
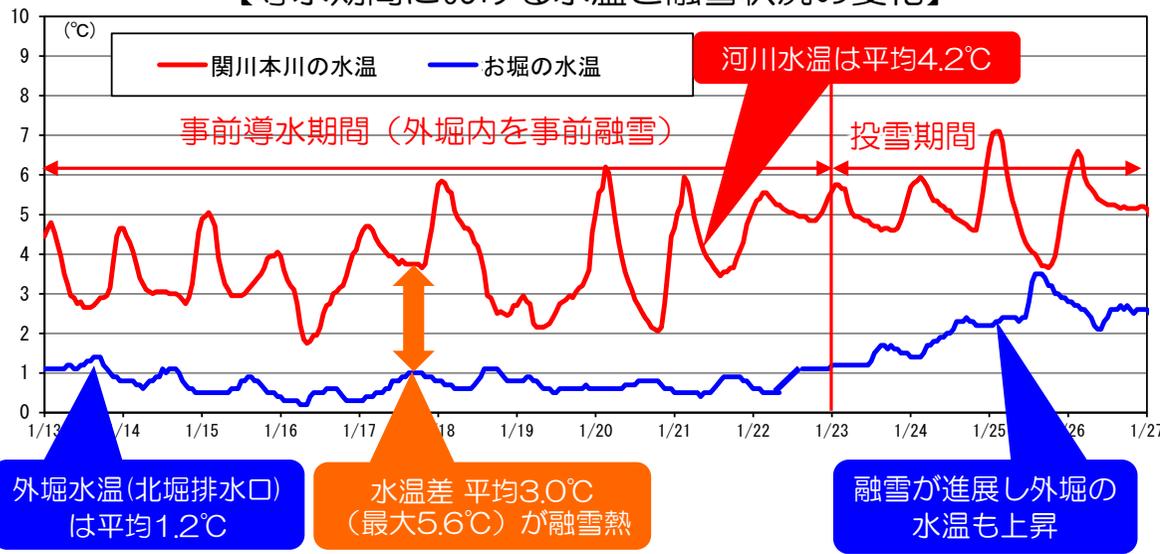


令和3年1月7日から11日の大雪に関する上越消流雪用水導入施設の効果

- 令和3年1月7日から降り始めた大雪により、上越市内各所で生活道路のマヒや物流の停滞、家屋や農業施設の損壊などが発生。高田かわこくでは、お堀に投雪された雪の融雪を促す消流雪施設を稼働。
- この消流雪施設は3℃程度高い関川の河川水をお堀に導水するものです。今回、稼働から12日目の1月23日にはお堀の雪を水面の約半分まで溶かすことができました。これによりお堀に投雪された雪をより早く溶かす効果が期待されます。



【導水期間における水温と融雪状況の変化】



【外堀 (南堀) R3.1.13】
河川水放流口から融雪がはじまる



【外堀 (南堀) R3.1.23】
放流の継続により融雪が拡大



一斉雪下ろしの状況
上越市南本町3丁目 R3.1.23



外堀 (南堀) への投雪状況
オーレンプラザ前 R3.1.23